



# RESTCONF エージェント

- [RESTCONF エージェントについて \(1 ページ\)](#)
- [注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [RESTCONF エージェントの使用方法 \(2 ページ\)](#)
- [RESTCONF エージェントのトラブルシューティング \(3 ページ\)](#)

## RESTCONF エージェントについて

Cisco NX-OS RESTCONF は、NETCONF で定義されたデータストアを使用して、YANG バージョン 1 で定義されたデータを構成するための HTTP ベースのプロトコルです。

NETCONF は、構成データストアと、これらのデータストアへのアクセスに使用できる一連の作成、取得、更新、および削除 (CRUD) 操作を定義します。YANG 言語は、データストア格納ファイル、運用データ、プロトコル操作、イベント通知の構文とセマンティクスを定義します。

Cisco NX-OS RESTCONF は、HTTP 操作を使用して、YANG 定義のデータを含む概念データストアでの CRUD 操作を可能にします。このデータは、NETCONF データストアを実装するサーバーと互換性があります。

RESTCONF プロトコルは、XML と JSON の両方のペイロードエンコーディングをサポートします。ユーザー認証は、HTTP 基本認証によって行われます。

次の表に、Cisco NX-OS RESTCONF エージェントがサポートするプロトコル操作を示します。

RESTCONF	同等の NETCONF
オプション	NETCONF : なし
HEAD	NETCONF : なし
GET	NETCONF: <get-config>, <get>
POST	NETCONF: <edit-config> (operation="create")
PUT	NETCONF: <edit-config> (operation="create/replace")

RESTCONF	同等の NETCONF
PATCH	NETCONF: <edit-config> (operation="merge")
DELETE	NETCONF: <edit-config> (operation="delete")

## 注意事項と制約事項

RESTCONF エージェントには、次の注意事項と制約事項があります。

- Cisco NX-OS RESTCONF は、RESTCONF Protocol draft-ietf-netconf-restconf-10 (<https://tools.ietf.org/html/draft-ietf-netconf-restconf-10>) という RFC ドラフトに基づいています。
- RESTCONF は、RFC 6536 で指定されている拡張ロールベース アクセス コントロール (RBAC) をサポートしていません。「network-admin」ロールを持つユーザのみに、RESTCONF エージェントへのアクセス権が付与されます。

## RESTCONF エージェントの使用方法

### 一般的なコマンド

- HTTP または HTTPS アクセスを有効にするには、次のコマンドを構成します。
  - **feature nxapi**
  - **nxapi http port 80**
  - **nxapi https port 443**

### 一般的な制御コマンド

RESTCONF エージェントの **[no] feature restconf** コマンドを有効または無効にできます。

### エージェントステータスの表示

RESTCONF エージェントのステータスを表示するには、**show feature** コマンドを使用し、式 **restconf** を含めます。

```
switch-1# show feature | grep restconf
restconf          1          enabled
switch-1#
```

### Curl を使用したサーバーへの POST 要求の送信

```
client-host % curl -X POST -H "Authorization: Basic YWRtaW46Y2lzY28=" -H "Content-Type: application/yang.data+xml" -d '<always>enabled</always><rtrId>2.2.2.2</rtrId>' "http://192.0.20.123/restconf/data/Cisco-NX-OS-device:System/bgp-items/inst-items/dm-items/Dm-list=default" -i
```

```
HTTP/1.1 201 Created
Server: nginx/1.7.10
Date: Tue, 27 Sep 2016 20:25:31 GMT
Transfer-Encoding: chunked
Connection: keep-alive
Set-Cookie: nxapi_auth=admin:147500853169574134
Status: 201 Created
Location: /System/bgp-items/inst-items/dom-items/Dom-list=default/always/rtrId/
```

## Curl を使用したサーバーへの GET 要求の送信

```
client-host % curl -X GET -H "Authorization: Basic YWRtaW46Y2lyZjY28=" -H "Accept:
application/yang.data+xml"
"http://192.0.20.123/restconf/data/Cisco-IOS-XE-device:System/bgp-items/inst-items/dom-items/Dom-list?content=config"
-i
```

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.7.10
Date: Tue, 27 Sep 2016 20:26:03 GMT
Content-Type: application/yang.data+xml
Content-Length: 395
Connection: keep-alive
Set-Cookie: nxapi_auth=admin:147500856185650327
Status: 200 OK
```

```
<Dom-list>
  <name>default</name>
  <always>enabled</always>
  <bestPathIntvl>300</bestPathIntvl>
  <holdIntvl>180</holdIntvl>
  <kaIntvl>60</kaIntvl>
  <maxAsLimit>0</maxAsLimit>
  <pfxPeerTimeout>30</pfxPeerTimeout>
  <pfxPeerWaitTime>90</pfxPeerWaitTime>
  <reConnIntvl>60</reConnIntvl>
  <rtrId>2.2.2.2</rtrId>
</Dom-list>
client-host %
```

# RESTCONF エージェントのトラブルシューティング

## 接続のトラブルシューティング

- **feature nxapi** コマンドを発行して、Web サーバーを有効にします。
- HTTP 用にポートを開くように **nxapi http port 80** コマンドが構成されていることを確認します。
- HTTPS 用にポートを開くように **nxapi https port 443** コマンドが構成されていることを確認します。
- スイッチの管理ポートに **ping** を実行して、スイッチが到達可能であることを確認します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。